

高校、中学、小学校、幼稚園で県の増額分が国の増額分を上回りました。
これは署名をはじめとするこれまでの私たちの運動の成果です。

- ①一言ハガキを国と県に4141枚提出し、私たちの声を届けました。
- ②私学助成の増額を県議会議員や県知事に要請しました。
- ③私学振興課と懇談を持ち、私学助成の必要性を訴えました。
- ④保護者と生徒、教職員で数々の集会を開いて私学の良さをアピールしました。
- ⑤県内全33市町村に「国と県に私学助成拡充を求める意見書の提出」の陳情を提出しました。

今年も昨年以上の運動を！

神奈川県は授業料補助は増額されましたが、東京や埼玉と比べると、まだまだ遅れています。

さらに、神奈川県の生徒一人当たりの経常費補助は表の資料のように全国的に低い順位であり、課題が残ります。幼稚園は一気に国基準を達成しましたが、小中高の額は国基準を下回っています。これを改善するためには、これからも運動を強めていく必要があります。

県内の12市町村が国と県への意見書提出の陳情を採択

2019年度に県内33市町村のすべてに「国と県に私学助成拡充を求める意見書の提出」を陳情。その結果現在まで12市町村（大和市・藤沢市・座間市・逗子市・小田原市・綾瀬市・秦野市・愛川町・葉山町・大磯町・南足柄市（国のみ）・清川村）が採択・趣旨了承してくれました。（一部意見書は出さず）過去4年で採択・趣旨了承のあった伊勢原市・茅ヶ崎市・二宮町・鎌倉市（同趣旨のもの）を含めると、半数近い16市町村に及びます。

（3月6日現在）

私たちは私立高校生を応援します

これからも私立高校生が生き生きと活躍できる企画を用意しています。

11月上旬 私学のつどい（桜木町駅前）（予定）



署名提出に協力してくださった紹介議員のみなさん

50音順 3月6日現在

▶国会議員のみなさん



衆議院議員
（立憲民主党）
青柳陽一郎氏



衆議院議員
（立憲民主党）
阿部知子氏



衆議院議員
（日本共産党）
志位和夫氏



衆議院議員
（立憲民主党）
篠原 豪氏



県議会議員
（日本共産党）
井坂新哉氏



県議会議員
（日本共産党）
石田和子氏



参議院議員
（日本共産党）
田村智子氏



衆議院議員
（立憲民主党）
中谷一馬氏



衆議院議員
（日本共産党）
畑野君枝氏



参議院議員
（社民党）
福島瑞穂氏



県議会議員
（日本共産党）
上野達也氏



県議会議員
（日本共産党）
大山奈々子氏



衆議院議員
（自民党）
星野剛士氏



参議院議員
（立憲民主党）
牧山弘恵氏



参議院議員
（立憲民主党）
真山勇一氏



参議院議員
（公明党）
三浦信祐氏



県議会議員
（日本共産党）
君嶋ちか子氏



県議会議員
（神奈川ネットワーク運動）
佐々木ゆみ子氏



衆議院議員
（自民党）
三谷英弘氏



衆議院議員
（無所属）
笠浩史氏



衆議院議員
（立憲民主党）
早稻田夕季氏

私たちの運動を
応援してくださる
議員のみなさんです

問い合わせ先 **神奈川県私学助成をすすめる会**

〒231-0062 横浜市中区桜木町3-9 TEL 045-212-5574 FAX 045-212-5575

経常費補助も増額！授業料補助も増額！2020年度から国が年収50万円まで私立高校の授業料を無償に

国の無償化の追い風で神奈川の私立高校無償化が前進しました

2019年度の成果

①年収700万円世帯までの実質授業料無償化が実現！(授業料平均444,000円補助)

年収700万円未満の世帯まで県内私立高校の平均授業料にあたる444,000円が補助されるようになり、実質授業料無償化が広がりました。



②年収270万円世帯まで私立高校の入学金が無償に！

これまででは年収750万円未満の世帯まで10万円の補助でしたが、年収270万円未満の世帯まで208,000円 (県内私立高校の平均入学金) の補助が拡充しました。(年収270万円~750万円までは10万円のまま)

私学助成請願署名にご協力ありがとうございました
106,319筆を12月2日に神奈川県議会へ提出。
全国署名は4,126,532筆を2月20日国会に提出。

③経常費補助(学校への補助金)は今年も国を上回る増額

(幼稚園は国基準達成！)

生徒一人あたりの2020年度経常費補助額

(単位は円)

国基準	国増額分	神奈川県	県増額分	国基準との差	順位
340,923	4,612	333,937	10,703	6,986	45位
340,923	4,612	333,937	10,703	6,986	45位
333,310	4,535	245,295	7,951	88,015	45位
331,760	4,519	265,663	25,267	66,097	34位
190,012	2,563	195,378	14,627	▲5,366	45位

④しかしまだ終わりでありません

(順位は2019年度のもの。中学校は45都道府県中、小学校は35、幼稚園は46都道府県中の順位)

神奈川県でも東京・埼玉水準の補助の実現を！

東京では

年収910万円未満の家庭まで (私立高校生の半数以上) 授業料平均額の46万1千円の授業料補助。子ども3人以上は一律軽減。

埼玉では

年収720万円未満の家庭まで (私立高校生の半数以上) 授業料平均額の37万8千円の授業料補助。年収500万円未満の家庭まではさらに施設費20万円も補助

愛知では

年収720万円未満の家庭まで (私立高校生の49%) 授業料平均額の41万8千円の授業料補助。